

市議会だより

No.233

令和6年5月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744



和の時代、自分からアピールしよう!
絆結ぶ

ふくい桜マラソン 2024



JR西日本提供



ハピラインふくい開業記念出発式

1月
臨時会
(1月19日)

市長提出の議案1件、報告1件を
審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は10ページ

3月
定例会
(2月16日~3月19日)

市長提出の議案57件、報告3件を
審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は10~11ページ

議員提出議案3件を審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は11ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

委員会審査

詳細は3ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は4~9ページ

予算特別委員会審査

詳細は9~10ページ

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10議案と11ページに掲載しています。

1月臨時議会

○副市長

副市長の欠員を補充するため、小寺正樹氏を選任することに同意しました。

3月定例会

令和6年度当初予算

令和6年度当初予算は、令和6年3月の北陸新幹線福井開業、さらには令和8年春に予定されている中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、人や物の流れが劇的に増大する「大交流時代」を拓くための重要な予算です。

予算特別委員会の委員を選任しました

委員名				○委員長	○副委員長
◎今村 辰和	○村田 耕一	堀川 秀樹	鈴木 正樹		
下畑 健二	堀江 廣海	伊藤 洋一	藤田 諭		
田中 義乃	池上 優徳	酒井 良樹	葛野 早智代		
浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘			

〈調査項目〉各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件

令和6年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	129,305,000
国民健康保険	20,838,000
後期高齢者医療	4,779,000
介護保険	27,293,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	27,000
特別会計	21,422,000
競輪	21,422,000
産業団地整備	33,000
宅地造成	246,000
中央卸売市場	872,000
駐車場	105,000
地域生活排水	0
水道事業	7,800,000
簡易水道事業	685,000
下水道事業	20,640,000
集落排水事業	1,424,000
合計	235,469,000

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

北陸新幹線開業効果最大化 対策特別委員会

「北陸新幹線福井延伸に合わせ開業する物産販売拠点について」

問 福井駅構内の商業施設「くるふ福井駅」及びA街区市街地再開発ビルのフードホール「MINEE」が福井駅前商店街や西武福井店など駅周辺の商業施設としっかり連携が取れるよう、何か方策を考えているのか。

答 ハピテラスで実施するイベントが盛り上がることで、入居テナントの方も時間を延長して営業する、営業時間を延長すればイベントも盛り上がるといった、互いに相乗効果が期待できるような取組を今後も続けていきたいと考えている。また、まちづくり福井は、屋内広場「U・L・O(ウ・ロ)」「A街区」とB街区の間に整備される芝生広場などで様々なイベントの実施を検討していることから、これらのイベントを介して商店街性を高めていきたい。

建設委員会

「バス交通維持・活性化支援事業について」

問 バスの運転手の成り手が少ないという切実な声を聞くが、市内の路線バスの現状について、本市としてどの程度把握しているのか。

答 路線バスについては、京福バス、福鉄バスともに運転手が1割程度不足している状況である。このため、本市は路線バスの維持に向け、バス会社とともに運行ダイヤの調整などを進めているところである。また、これまで市が路線バス会社に委託していた事業の一部について、その委託先を令和6年度から別の会社に変更することで、路線バス会社の負担を軽減し、バスの運行に注力できるように対応する予定である。

総務委員会

「企画費について」

問 令和5年度予算と比較すると約1億円の減額となっており、その主な要因は、ふくいプロモーション事業の減額にあるとのことだが、具体的にどのような経費を減額したのか。

答 令和5年度は北陸新幹線の福井開業年度であることから、プロモーション事業の予算額がかなり多くなっており、首都圏等に向けた情報発信のための経費に約8,800万円、3月16日及び17日開催の開業イベント経費に約2,400万円、歓迎装飾のための経費に約1,000万円を計上した。令和6年度予算には、これらの経費を減額または計上していないため、約1億円の減額となっている。

経済企業委員会

「園芸・特産物振興対策事業について」

問 令和5年度の9月定例会への高温対策支援について、まずは担い手を対象にアンケート調査を行った上で支援内容を検討するとの答弁があったが、このことは事業内容に盛り込まれているのか。

答 昨年の10月に約300の経営体を対象にアンケート調査を行ったところ、約1

教育民生委員会

「工事請負契約の締結について(新 福井市九頭竜中学校新築工事及び電気設備工事)」

問 近年の夏の猛暑対策として、将来的に体育館に空調設備を設置することは考えていないのか。

答 この学校は体育館を含め、高断熱化や省エネ効果の高い設備を備えたZEB Readyを採用しており、他と比べ断熱性能が高い施設となっている。これに加え、体育館は4方向から空気を入れ替えることができる風通しのよい仕様となっている。しかしながら、昨今の暑さ対策は課題であると認識しており、空調設備に関しては今後、他自治体の状況等を含め研究していきたい。

条例

「福井市介護保険条例の一部改正について」

福井市地域包括ケア推進協議会の委員の数を変更するとともに、令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者に係る介護保険料を改定するものです。

人事案件

「福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

放課後児童支援員の安定的な確保を図るため、資格要件を緩和するものです。

固定資産評価審査委員会委員

令和6年3月31日をもって任期満了となる委員の後任として、宮田貴代美氏を選任することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

「福井市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について」

企業管理者の名称変更に伴い、所要の規定の整理を行うものです。

当面する諸問題について市の考え方を問うため、2月26日から28日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

一般質問

- ① 見谷 喜代三 (一真会)
1 市長の政治姿勢について
2 令和6年度当初予算案について
3 こどもまんなか社会について
② 皆川 信正 (一真会)
1 アリーナ構想について
2 消防団について
3 自治会等地域活動運営について
③ 田中 義乃 (新政会)
1 市長の政治姿勢について
2 福井市人材育成基本方針について
④ 酒井 良樹 (市民クラブ)
1 情報発信について
2 組織体制の変更について
3 地域公共交通について
⑤ 下畑 健二 (公明党)
1 福井市建築物耐震改修促進計画について
2 アリーナ構想の基本計画 (案) について
3 第3次「健康ふくふくプラン21」について
4 福井市地域コミュニティDX推進事業について
⑥ 榊原 光賀 (一真会)
1 第八次福井市総合計画、福井市デジタル田園都市構想総合戦略について
⑦ 野嶋 祐記 (新政会)
1 アリーナ構想について
2 まちなかのにぎわい創出について
3 県営産業団地について
⑧ 高田 稔浩 (市民クラブ)
1 避難所を含めた市有施設等のバリアフリー化について
2 介護サポーターポイント制度について
3 令和7年度以降の福井市障害者活躍推進計画について
4 障がい者の日常生活用具給付事業について
⑨ 鈴木 正樹 (日本共産党)
1 市長選挙の結果と市長の政治姿勢について
2 アリーナ建設への市の対応について
3 奨学金返済支援について
4 部活動の地域移行と教員の多忙化について
5 企業管理者の選挙違反の疑いへの対応について

- ⑩ 寺島 恭也 (一真会)
1 アリーナ建設について
2 災害時の上下水道について
3 空き家対策について
⑪ 岩佐 武彦 (無所属)
1 市長の思いと機構改革について
2 災害対策について
3 アリーナの基本計画について
4 中学校の部活動について
5 ワークेशन推進事業について
⑫ 宮岡 勝也 (無所属)
1 サブカルチャーの福井市への経済効果について
2 保健衛生部事業の予算について
3 すまいるオアシスプラン2024 (案) とフレイル予防について
4 風力発電設置に係る地域住民への周知について
⑬ 今村 辰和 (一真会)
1 鳥獣害処理について
2 能登半島地震被災地への支援策について
3 美山地区の小学校の統合について
⑭ 津田 かおり (公明党)
1 持続可能な自治会組織について
2 こども未来部の新設について
3 ネット・SNSから子どもを守る取組について
4 高齢者支援について
⑮ 漆崎 與 (一真会)
1 福井市デジタル田園都市構想総合戦略について
2 こどもまんなか社会の実現と少子化対策について
⑯ 近藤 實 (無所属)
1 新年度の予算について
2 こども未来部の新設と結婚についての教育
3 公文書開示
4 アリーナ整備・運営構想には大反対です！

- ⑰ 浦上 逸人 (一真会)
1 政策評価 (部局マネジメント方針) について
2 「簡単・便利」な行政手続について
3 収入の確保について
4 県や近隣市町との連携について
⑱ 奥島 光晴 (新政会)
1 子育て支援策における教育について
2 教育委員会の教育委員について
3 小学校 (児童) 中学校 (生徒) の不登校について
⑲ 山田 文葉 (日本共産党)
1 地震等の災害時の対策について
2 介護保険について
3 学校給食費無償化について
4 自衛隊への個人情報提供について
⑳ 堀川 秀樹 (市民クラブ)
1 福井駅前南通り地区再開発事業予定地の一時的整備について
2 民間による公道を使った災害義援や共同募金活動を行う際の道路占用料について
3 全天候型の表現が消えた中央公園屋根付き遊び場について
4 能登半島地震において浮き彫りとなった道路啓開計画とこれからの災害対策について
㉑ 佐野 弘 (一真会)
1 DX推進、働き方改革への取組について
2 災害時の避難所、防災ステーションについて
3 通学・通勤負担の軽減について
4 地域の魅力向上について
5 産業の成長と市の歳入増について
㉒ 葛野 早智代 (一真会)
1 こども食堂 (みんなの食堂) について
2 障がい者の芸術活動について
3 学校給食について
㉓ 藤田 諭 (新政会)
1 防災対策について
2 中学生の部活動について

自治会長の負担軽減策について、市は何をどう対応してきたのか
質問
自治会長の方々からよく耳にするのは、時代に反して紙の配布物が多く、特に月2回の市政広報の配布は、募金の集金と同様に負担が重い。また、会員以外によるゴミステーションの利用でトラブルが生じているということである。これらに対して市の指導を求む。

福井市の「四方よし」とは？
質問
近江商人の心得に「三方よし」がある。「売手よし」「買手よし」「世間よし」の考えである。最近「社員よし」を加えた「四方よし」を取り入れる会社が増えている。社員の満足がなければ「三方よし」はあり得ない。福井市としての「四方よし」は何か。
回答
本市にとつての「四方よし」とは、「職員よし」「市民よし」「市役所よし」「市民よし」「まちよし」であると考える。これは、職員の満足度が高まることで、市役所全体のサービス向上に繋がります。市民満足度が高まることで、持続可能な活力あるまちづくりに繋がります。職員満足度は、働きやすい職場づくりはもちろんです。職員一人ひとりが自らキャリア形成を主体的に考え、積極的に業務の遂行に取り組むことで、醸成されると考えるため、今後職員研修をしっかりと実施していく。

組織体制の変更について
質問
子どもに関する業務を一元的に集めた「こども未来部」を設置し、子どもの居場所・遊び場・学習支援の場づくり等の施策推進のため、「子ども家庭センター」「女性支援室」が新設されるが、具体的な業務内容や目的は。
回答
こども家庭センターでは、妊産婦、子育て世帯、子どもに対する相談支援を一体的に行うほか、乳幼児健診、児童虐待対応などを行う。保健師や心理士など専門職が連携して対応し、妊娠から子育てまで気軽に相談できるワンストップ窓口とする。育児ストレス、ヤングケアラーなど、子どもに関する様々な問題の早期発見、対応につなげていく。また、女性支援室では、DVや離婚などに対する相談業務、養育費の確保のための支援、経済的に困難な女性の出産費用の支援などを行い、女性を取り巻く様々な課題の解決を図っていく。

木造住宅無料耐震診断について
質問
福井市は、現行の耐震基準を満たさない古い木造住宅の耐震診断と補強プラン作成に係る個人負担を、令和6年度から無料とする。我が家の耐震が心配な方には是非とも活用して頂きたいが、どのように周知して取り組むのか。
回答
能登半島地震では、倒壊した建物の多くが古い木造住宅であったことから、改めて本市において木造住宅の耐震診断を早急に進め、耐震化を促進する必要があると判断した。また、地震の発生以降、市民から耐震に関する相談が急増し、住宅耐震化に対する関心の高まりを実感している。そこで、令和6年度から耐震診断にかかる申請者の自己負担を本市が負担し、無料化することとした。この事業の周知については、今後も引き続き、耐震補助パネルの開催や、広報ふくいテレビ放送等を活用し、耐震化の必要性や拡充予定の補助制度の周知を図っていく。

福井市危機管理計画の見直しについて
質問
近年、頻発・激甚化している自然災害や、新型コロナウイルス感染症への素早い対応が必要となっている。自然災害だけでなくあらゆる危機事象に対応するため、計画を見直したとのことだが、本計画の適用範囲はどうなっているのか。
回答
今年度の危機管理体制検討会議において、危機レベルの明確化や各部署の動きの可視化がさらに必要といった課題が挙げられたことから、その見直しも含め、本年2月に計画を改定した。本市を脅かす危機のうち、風水害や地震、原子力などの災害については、福井市地域防災計画で、また、武力攻撃やテロについては福井市国民保護計画で対応している。加えて、新型インフルエンザ等の感染症については新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき対応している。これ以外の危機事象については本計画で対応していく。

市長の政治姿勢について
質問
市長は、今後、福井市をどのように良くしていこうと考えているのか。市民の皆様に向けて、自身の言葉で分かりやすく示してほしい。
回答
「福井は楽しい」「福井は安心」「福井は元気」を施策推進のモットーとしていく。「福井は楽しい」では、新幹線開業後の人の流れを生かし、年間を通じてイベントなどで「福井」を楽しく、福井ならではの楽しさや魅力を伝えていく。「福井は安心」では、道路環境のレベルアップや災害に強い強靱なまちづくり、子ども子育て環境の充実などに取り組んでいく。「福井は元気」では、新たな産業団地の整備等により企業誘致を促進するなど、産業施策を強力に推し進めていく。市民の皆様が幸福を実感できる「生まれ変わる福井」を築き上げていくため、私が先頭となり、全職員が一丸となって創意工夫を凝らし、持つ力の限りを尽くしていく。

一般質問要旨

見谷 喜代三 議員
一真会



野嶋 祐記 議員
新政会

まちなかの賑わいの創出について

クルフやミニ工など駅周辺で新たに開業する施設と既存の施設などが連携・協力する計画等はあるのか。また、行政の事業も含め、駅周辺の面的・総合的なマネジメントについてはどう考えているのか。

回答

新幹線開業に合わせ、駅周辺では新たにぎわいの核となる施設が複数オープンする。これまでもハピリンや西武福井店、プリズム福井などが連携した取組を実施してきたところだが、今後は複数施設による横断的なイベントの開催など、より一層の連携を図る中で相乗効果を生み出していく取組が重要になる。さらに、施設間の連携に限らず、ほこみちやソライロテラスを含め、駅周辺における様々な取組を一体的に進めることで、より大きな効果が期待できると考えるため、今後もまちなかの総合的なエリアマネジメント機能を担うまちづくり福井を中心とした連携を強化しながら、各種事業を展開していく。



高田 稔浩 議員
市民クラブ

避難所を含めた市有施設のバリアフリートイレについて

避難所に指定されている小・中学校の車いす使用者用トイレを含め、市有施設のバリアフリートイレに、立ち上がるのが困難な方が紙おむつの交換等に使用する成人・大人用ベッドの設置が必要と考えるが、市の所見を伺う。

回答

現在、ちもり体育館と清水健康管理センターの2施設に成人・大人用ベッド、いわゆる多目的シートを合わせて3台設置している。多目的シートの設置については、十分なスペースを確保する必要がありといった課題もあることから、まずは既存の多目的トイレにおいて、設置するためのスペースがあるかどうかの調査を実施する。その結果も踏まえ、福井市公共施設バリアフリー連絡調整会議を通して、施設の新築・改修の際の新設について協議を行っていく。



鈴木 正樹 議員
日本共産党

民設民営アリーナ計画の半分は税金…許せぬ

民設民営のはずのアリーナ建設の計画は、建設費105億円に対して最大50億円(47.6%)、運営費約6.9億円に対して2.9億円(42.3%)を税金で支援するといふ。建設費も毎年の運営費も半分ほどが税金頼り。こんな計画は見直し、税金支出は抑制すべきだ。

回答

民間施設に活用できる有利な補助制度として、デジタル田園都市国家構想交付金がある。経済界からは、こうした国の補助金を活用した支援の要望をいただいているが、本市としては今回示された基本計画(案)をしっかりと精査し、県とともに対応を検討していきたいと考えている。また、今後は事業費が上振れすることのないよう、経済界に対して、事業規模や整備内容、資金調達など様々な角度から精査を重ね、しっかりと取り組んでいただくよう求めていく。



寺島 恭也 議員
一真会

災害時の上下水道について

今回の能登半島地震において、長期断水や下水道管の破損が発生したと聞いている。本市の上下水道管及び老朽化した施設の耐震化率向上に向けた具体的な計画や施策はあるのか。

回答

水道管については、福井市水道事業ビジョン2020に基づき、基幹管路の耐震化を優先的に進めており、現在は災害時に配水池から災害拠点病院へ給水するための重要給水施設配水管の耐震化に取り組んでいる。なお、水道施設のうち市内全配水量の約7割を供給している九頭竜浄水場については、現在更新に向けた基本設計を実施しているところである。また、下水道管については、今年度策定した福井市下水道管路施設地震対策基本計画に基づき取組を進めている。処理場やポンプ場等に直結し、災害時において復旧に時間を要する管径800ミリメートル以上の管路を優先し、耐震化を行っている。



岩佐 武彦 議員
無所属

中学校の部活動について

本市中学校の休日部活動を令和7年度末で廃止するとの発表があったが、これまで休日を中心に行われてきた他校との練習試合は今後どのようになるのか。また、休日に開催される地元の祭りなどに中学校のブラバンド部に出演してもらっていたがどうなるのか。

回答

休日部活動の廃止後は、休日は学校では部活動を行わない方針であるため、学校側が対応することはない。休日に実施される練習試合は、それぞれの生徒が所属する地域クラブ活動間で行うこととなり、ブラバンドの演奏等もそれぞれの団体で行うこととなる。一方で、平日の部活動は継続するため、従来からの大会等には学校部活動として参加することを想定している。なお、これらの大会等は休日に開催されるものも多く、休日に参加した場合は、平日の活動を休むなど、今後、地域クラブ活動推進協議会において対応方針を検討していく。



宮岡 勝也 議員
無所属

サブカルチャーの福井市の経済効果について

アニメやライトノベルの経済効果は非常に高いと思われている。本市はこれまで「千歳くんはラムネ瓶のなか」と3回のコラボ事業を開催しており、いずれも好評だったとのことだが、その経済効果はまた今後の取組について伺う。

回答

コラボ事業の内容は、本市の観光地等を背景にしたポスター掲示やスタンダラー等の周遊イベントなどであり、年々参加者数が増加している。イベント参加後に福井の観光地を巡りながら3泊、4泊以上滞在する参加者も多く、その経済効果は令和5年度で少なくとも2,200万円以上になると試算しており、非常に効果があるものと捉えている。令和6年度当初予算にもコラボ事業を計上しており、デジタルアプリの導入や北陸新幹線福井開業の各事業との連携など、より訴求力の高い事業展開を検討している。



今村 辰和 議員
一真会

美山地区の小学校の統合について

美山地区では3校全ての小学校で複式学級を編成している。子どもは通常の半分の時間しか指導を受けられず、教員も2学年分の授業の準備が必要となり大変苦労している。一日も早く3校を統合し、1学年1学級での学習が実現されることを望むが、再編の目安となるスケジュールは。

回答

先日の自治会連合会総会で、最も早い案として令和7年度に統合するスケジュールを示したが、その後の学校関係者との協議において、学習範囲の一部が未履修となるおそれがあることが分かった。その調整には最低でも2年程度を要するため、既存の小学校を統合する場合は、最短で令和8年度以降となる。小中一貫校とする場合は、学校施設の改修が必要となるため、さらに期間を要することとなる。協議会の中でできるだけ早く地区内での合意を得られるよう話し合いを進めていく。



津田 かおり 議員
公明党

ネット・SNSから子どもを守る取組について

ネットいじめの件数が年々増加し、過去最多となっている。本市の現状と、ネットパトロール等の取組状況は。10代の間で「自撮り被害」も急増している。子どもを守るため、無料アプリ「コードマモ」を本市でも周知・啓発してほしいか。

回答

本市のネットいじめの現状については、全国の傾向と同様に、SNS等を通して誹謗中傷の言葉を言い合うことでトラブルに発展するといった報告を複数受けている。本市の取組状況としては、令和5年4月から令和6年1月末までに、ネットパトロールで1,322件の問題投稿を検知し、また小・中学校等で121回の情報モラル講習会を実施した。昨年春に産学官が連携して製作した「コードマモ」については、今後、積極的な活用に向けた周知・啓発を図っていきたいと考えている。



漆崎 與 議員
一真会

福井市デジタル田園都市構想総合戦略について

第2期総合戦略(R25R6)の成果はどうだったのか。4つの基本目標の各々の数値目標の結果はどうだったのか。また、各々の基本目標の「政策の基本的方向及び具体的施策」のうち、どれはうまくいったか、どれはうまくいかなかったのか。その原因は何か。

回答

第2期総合戦略の成果について、基本目標1「交流」「対流」「還流」、福井への三つの人の流れづくりでは、市内観光客入込数525万人の目標に対し実績は324万人であるなど、すべての基本目標で数値目標が未達成となった。また、重要業績評価指標(KPI)56項目の令和4年度末における状況は、33項目が目標を達成し、達成率は58.9%であった。この結果は、令和2年度からの新型コロナウイルスの世界的拡大に伴う行動制限など、社会情勢等の影響を受けたことが大きな要因と考えている。



近藤 實 議員
無所属

アリーナ整備・運営構想には大反対です!

当初の民設民営という考えから大きく変わっている。整備費はすべて民間で賄う計画だったのが、国が25億円、県が15億円、福井市が10億円負担することになる。財政部長、整備資金10億円、また、利用料金等として毎年7千万円を支援する余裕はあるのか。

回答

アリーナ構想への支援については、基本計画(案)の内容をしっかりと精査した上で、行政として必要な支援のあり方を検討していく。また、財政運営については、福井市財政計画に基づき、健全な財政運営に努めていく。



浦上 逸人 議員
うらがみ はやと
一真会

「簡単・便利」な行政手続について

「簡単・便利」な窓口について、導入予定の業務は何か。また、窓口での審査などが不要の提出物については、公民館などの施設に提出し、メール便を活用して担当部署に届けるサービスを導入してはどうか。

回答

「行かない窓口」の取組として、マイナンバーカードとスマートフォンなどを利用し、オンラインで戸籍などの各種証明の申請と手数料の決済が完了するサービスを令和6年度に導入する予定である。「書かない窓口」については、令和7年度に市民課窓口への導入を検討している。現在、市内8か所の連絡所では、メール便を利用し、担当部署への提出物の送付を毎日行っており、今後も業務に支障がない範囲で行っていく。一方、公民館のメール便は月1回であるため、急ぎの文書を預けられないこと、また市民からの提出物を最大1か月間預かることになり、個人情報保護などの課題があるため難しいと考える。



奥島 光晴 議員
おくしま みつはる
新政会

教育委員会の教育委員について

片山善博元総務大臣は「教育委員が名誉職との考えが未だにあるが、委員は教育の根本で、市の教育行政に大きく影響するため、慎重に選ぶべき」と講演で述べられた。本市では、どのような基準プロセスで、どのような思いを持った方を選出しているのか。

回答

本市では、委員の年齢や職業等を念頭に置き、教育、学術及び文化に関し識見を有する適任者を候補者として選出している。年齢は80歳未満で、男女2名ずつの4名とし、職業等については、主に学校の現場を熟知している方、学校保健や特殊教育に携わる医師などの方、地域社会と企業の連携ができる企業を経営する方、保護者を含める形で青少年育成やPTA役員などに関わる方を中心に選出している。今後重要事項を決定する機関であることを認識し、強い使命感を持つ委員の選出に努めていく。



山田 文葉 議員
やまだ ふみは
日本共産党

災害時、雑用水の確保に井戸の利用を

災害時には、トイレや洗濯、入浴に使う雑用水が不足する。多くの自治体では、民間工場などの井戸や道路消雪用の井戸を活用する協定を結んでいる。福井市でも災害時、民間や消雪用の井戸を活用できるようにするべき。

回答

トイレなどの生活用水については、井戸水の活用も有効であると考え、本市の道路消雪設備は降雪時の道路散水のみを目的としているため、災害時に利用できるように、また、井戸水を使用する場合、用途によっては水質を確認する必要があり、他市町においては消雪用井戸を災害時に利用できるよう改良した事例や、民間企業等で整備した井戸から災害時に限りの水の提供を受ける協定の締結の事例があることから、今後はこれらの事例について調査研究していく。



堀川 秀樹 議員
ほりかわ ひでき
市民クラブ

公道での共同募金について

民間の団体が募金活動のたびに道路使用料2,300円を警察署に納めているが、大切な募金の中から道路使用料を支払うべきなのか。また、緑化推進の緑の募金では、日程の固定を求めず、期間中いつでも申請した数か所で活動ができるよう柔軟な対応を求める。

回答

募金活動などで道路を使用する際は、管轄の警察署長に道路使用許可申請を行い、手数料を納付する必要がある。ただし、申請者が国または地方公共団体であり、かつ公益上必要があるときに免除が認められる。災害義援金の募金活動等については、公益上一定の理解が得られると考えることから、道路使用許可手数料の免除について、現在、警察と協議を進めているところである。緑の募金については、日程や場所を早めに協議いただくと、柔軟な対応ができるようにと考えるため、担当所属と情報共有していきたい。



佐野 弘 議員
さの ひろし
一真会

災害時の避難所、防災ステーションについて

元日の能登半島地震は大変痛ましい事態となっている。本市の災害発生時における避難所の情報共有や生活資材の調達方法及び現在1か所に設置されている防災ステーションの代替施設等、万一の場合の対応について所見を伺う。

回答

情報共有については、防災情報システムの導入により、各避難所でスマートフォンを活用することで、避難者数や生活必需品等のニーズを的確に把握し、迅速な避難所対応が可能となる体制を構築していく。炊き出し等のための生活資材が不足する場合は、県及び応援協定締結市町等に応援を要請するほか、本市が企業等と締結している物資調達に係る災害応援協定を活用する。本市では、防災資機材等を備蓄する拠点備蓄施設を、防災ステーションを含む市内7か所に分散して配備しており、拠点備蓄施設から各避難所への配送については協定を締結している配送事業者等と連携しながら行うこととしている。



葛野 早智代 議員
くずの さちよ
一真会

障がい者の芸術活動について

障がい者アートに関する認知度を高めるために、美術館等で多くの人に鑑賞する機会を提供することは重要であり、障がい者の自立につながることを期待される。福井市として作品展を開催し、作品づくりのバックアップをすることは可能か。

回答

本市では、これまでも「福井県障がい者ハートフル文化祭」や「アール・ブリュット展ふくい」などの展覧会等への後援を行うとともにこれらの周知広報にも努めてきた。今後は、市長ビジョンに基づき、障がい者と健常者が一堂に会し、芸術文化の取組の成果の発表を通じて、広く市民が交流できる「障がい者芸術文化祭」を新たに開催したいと考えている。



藤田 諭 議員
ふじた さとし
新政会

中学生の部活動について

令和7年度末で休日の部活動を廃止し、地域クラブ活動に参加できるよう、家庭・学校・地域との連携を図るとしたが、休日部活動の地域移行に向けての周知、クラブ活動受入れ側の支援についてはどうなっているのか。

回答

休日部活動の地域移行に向けて、市が発行する地域クラブ移行に関する広報誌「ドリム通信」で、保護者や市民に周知を図っている。地域クラブ活動の受入れ側となる競技団体等へのヒアリングでは、指導者や活動場所の確保が困難であることなど、様々な御意見をいただいている。これらの課題については、今後、地域クラブ活動推進協議会において対応方法を検討していくこととなるが、中学校の体育館などを地域クラブの活動場所として優先的に使用させるなど、地域への移行がスムーズに進むよう考えていく。

予算特別委員会

一真会

今村 辰和 堀江 廣海
池上 優徳 葛野 早智代
浦上 逸人 漆崎 與
佐野 弘

3月13日
3月14日

まちづくりについて

建設予定のアリーナは民設民営を謳いながら、整備費の約5割、開業後の年間収入の約4割を、国、県、市からの資金で賄おうとしている。また、整備費は当初の30億円から数十億円であったものが、75億円となり、最終的には105億円にまで膨れ上がる事態となり、その間議論されていく中で費用の検証及び精査が不十分であったことは明白である。こういった経緯から、開業後の年間収入の根拠となる想定利用日数190日というのも全く信用できない。この際、アリーナ構想にかかる三者の合意を白紙に戻すべきだと考えるが、いかがか。

アリーナ構想に関する、議会からの様々なご意見を早急に経済界にお伝えする。また、関係者から詳細なヒアリングを行い、収支の見込みや経済波及効果などを精査してい

各会派における主な質疑内容を紹介します。

く中で、その内容を県とともに確認した上で、議会に対して経済界から説明する場を設けていきたい。スポーツにはまちや人を元気にする力もあれば、経済効果もある。また、このアリーナは、災害時には地元の方々や帰宅困難者の避難場所としても活用できることから、「福井は楽しい！福井は安心！福井は元気！」の実現につながる施設であると考えており、アリーナ構想をぜひとも具体化していきたいという思いを強く持っている。

新政会

伊藤 洋一 藤田 諭
田中 義乃

3月13日
3月14日

福井市住宅基本計画について

基本計画で掲げている市営住宅の整備方針において、計画的な老朽住宅の解消として用途廃止を挙げているが、その進捗状況は現在どうなっているのか。また、計画的に用途廃止を進める一方、住戸数の確保が重要であると考えているが、どのような対応策を考えているのか。

掘川 秀樹 村田 耕一
酒井 良樹

3月13日
3月14日

足羽川桜並木長寿命化事業について

現在、寿命を迎え衰退が始まった幹や枝を切除す

耐用年限を経過し、老朽化した平屋や二階建て住宅、及び耐震性がない住宅については、入居者の移転を終えた建物から計画的に解体し、用途廃止を行っている。用途廃止予定の市営住宅36棟のうち、令和5年度までに17棟を解体し、現時点で計画どおり進んでいる。住戸数の確保については、外壁工事を行うなど既存住宅の長寿命化を図るほか、令和5年度から民間の賃貸住宅の空き部屋を市営住宅として登録し、入居希望者に貸し出す「民間賃貸住宅の借上げ制度」を試験的に運用しており、今後、制度の課題を見極めながら、計画的に住戸数を確保していく。

市民クラブ

「民間賃貸住宅の借上げ制度」は新しい試みであるため、メリットとデメリットをしっかりと精査した上で、本格的に運用してほしい。

足羽川桜並木長寿命化事業について

現在、寿命を迎え衰退が始まった幹や枝を切除す

3月13日
3月14日

掘川 秀樹 村田 耕一
酒井 良樹

現在、寿命を迎え衰退が始まった幹や枝を切除す

議案等の審議結果 (3月定例会) Table with columns: 議案番号, 件名, 審議結果, 賛否が分かれた議案

請願・陳情の審議結果 (3月定例会) Table with columns: 請願・陳情番号, 件名, 審議結果, 賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案等一覧

賛否が分かれた議案等一覧 Table with columns: 会派名議員名, 審議結果, 議案番号, 賛否 (賛, 反, 無所属)

現在、足羽川の桜並木には約600本の桜があるが、このうち約70年前に植えられたソメイヨシノ353本を調査した結果、5年以内を目途に強剪定が必要な桜は224本あることが判明した。総事業費は6,400万円を見込んでおり、ふくい桜まつりには大勢の来場者が予想されることから、開催時期に合わせて、4月1日からガバメントクラウドファンディングの募集を開始する。まつり期間中は、足羽川河川敷内に募集チラシやポスターを掲示したブースを設置するとともに、これまで本市と協力し、桜の保全を行ってきた「ふくい桜守の会」が募金活動を行う予定である。さらに、花月橋の下にある駐車場を有料とし、そこで得られる収入の一部を桜の保全費用に充てるほか、近隣の飲食店等にも店舗での募金協力を呼び掛けている。

大規模災害時の避難所について
新聞報道によれば、能登半島地震での福祉避難所の開設は想定外の2割にとどまったとのことであり、大規模災害時の開設が想定通りとはいかない現状が浮き彫りとなった。そこで、介護施設や障害者施設などの福祉施設以外の多様な施設や、市外及び県外の施設を福祉避難所として活用する必要があると考えるがどうか。
福祉施設以外の施設の活用についても検討しているが、市有施設は災害時の役割が決まっていることから、県有施設を活用できないか調査を行っており、今後、運営方法や受入れ体制等の協議、調整を進めていく。また、大規模災害時には県内の旅館やホテルといった県が協定を締結している施設を福祉避難所として活用していく。しかしながら、それでもなお不足することが想定されることから、県外での広域的な受入れ体制の整備について、県や全国市長会を通じて要請を行っていく。

介護人材の確保について
介護保険事業については、事業計画に基づき着実に実施していくとのことだが、介護現場で働く人材の確保が困難となっている中、今後このような状況が続くとすると、計画を着実に実施していく上での障害になるのではないかと。安定した介護サービスを提供するためには、介護人材の確保は重要な課題であると認識している。そのため、県はタイやミャンマーの各機関などと連携し、技能実習制度を活用した外国人介護人材の受入れを行っており、本市もこれに合わせ、市内で働く外国人介護職員を対象とした離職防止のための事業を令和4年度から実施しているところである。また、県と連携して、介護職員の宿舎整備の補助、人材育成や働きやすい職場環境づくりに向けた研修、介護ロボットの導入やICTの活用など、介護職員の負担軽減につながる補助制度等の周知についても積極的に行っている。

公明党 下畑健一 3月13日 3月14日

日本共産党 鈴木正樹 3月13日 3月14日

議案等の審議結果 (1月臨時会) Table with columns: 議案番号, 件名, 審議結果, 賛否が分かれた議案

議案等の審議結果 (3月定例会) Table with columns: 議案番号, 件名, 審議結果, 賛否が分かれた議案

議長の動静(令和6年1月～3月)

1月19日	福井県市議会議長会 議員研修会(小浜市)
29日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(長崎県)
2月5日	福井県市議会議長会 定期総会(小浜市)
6日	福井県市町振興協会 理事会
8日	全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議、 全国市議会議員互助会 代議員会(東京都) 北信越市議会議長会 理事会(東京都)
13日	福井県自治会館組合議会 定例会 福井県市町総合事務組合議会 定例会
20日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 議員全員協議会、 定例会
22日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
3月27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、定例会(あわら市)

1月臨時会

1月19日	議員全員協議会、本会議
-------	-------------

3月定例会

2月16日	本会議
19日	議会運営委員会
26日	本会議(一般質問)
27日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
29日	総務委員会 建設委員会
3月4日	教育民生委員会 経済企業委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
15日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程(令和6年1月～3月)

1月16日	議会運営委員会
31日	北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
2月7日	議員全員協議会、議会運営委員会

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
北陸新幹線開業効果最大化 対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

北陸新幹線福井開業の3・16は記念すべき日になりました。待ちに待ったその日は早朝から予想を超えて盛り上がり、市民の皆さんと共に喜びが爆発しました！ふくい桜マラソンも大盛り上がり！これまでの関係する方々の努力に心より感謝申し上げます。

今回の3月定例会では、東公園に計画されているアリーナ構想に関係する質問を多くの議員が取り上げ、意見を理事者に投げかける場面が目立ちました。福井市が持続的に発展できるように議会も努力していきます。
(編集委員 下畑、山田)

》》》 次回は 》》》 6月定例会 です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

